

町田市 S.C.「健康・生活アンケート」結果報告（抜粋）

アンケート実施期間：26年1月8日～2月21日

第9回（平成26年）「健康・生活アンケート」の結果の一部をご報告いたします。今回は、問39の「センター内外での活動状況」のなかから③. ボランティア活動を取りあげました。ご協力ありがとうございました。

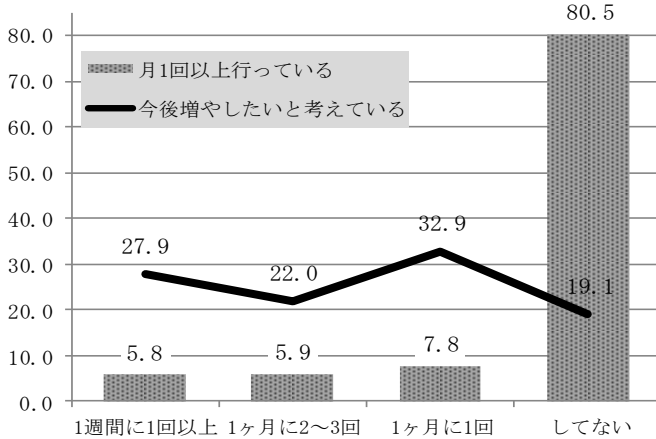
地域でのボランティア活動

センターの会員の19.5%は、地域で何らかのボランティア活動に定期的(月1回以上)に参加していることが明らかになりました。また、参加していない会員も、その4人に1人は今後参加したいと考えています(図1)。この結果は、今年から同じアンケートを開始した大阪府の5つのセンターと比較しても約4%ほど高く(図2)、当センター会員のボランティア活動への積極性が良く表れています。

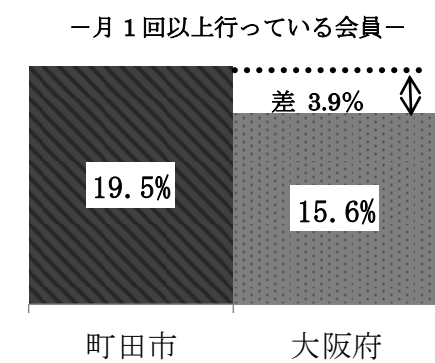
さらに、ボランティア活動への参加の有無別に「センター会員であることの意味(問40～47)」の回答結果を比較してみました。その結果、ボランティア活動に参加している会員ほど「友人と交流できる」(プラス8%)、「知識や技能を活かすことができる」(プラス10%)、「地域の役に立つことができる」(プラス14%)に高い満足を得ていました。

これまで、シルバー人材センターに登録する人は、他の地域活動を選択せず、センターの活動にのみ従事していると考えられていました。しかし、当センターはむしろ逆で、地域でもセンターでも活動的にいきいきと関わる会員の姿が浮かび上がってきました。

《図1》参加状況と参加意欲



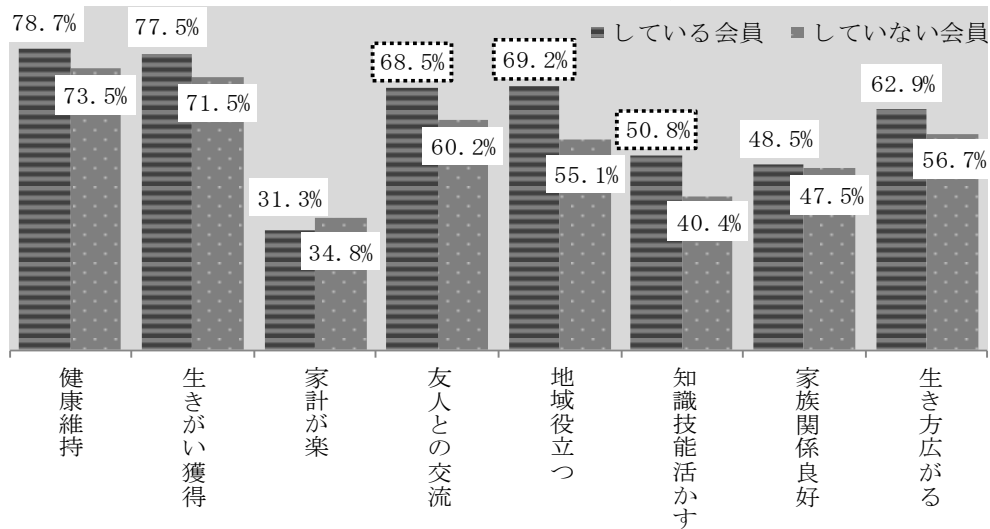
《図2》他センターとの比較



※今年度から大阪府内の5センターでも「健康・生活アンケート」がスタートしました。

《図3》ボランティア活動とセンターに求めるもの

—「あてはまる」と回答した会員—



(分析：ダイヤ高齢社会研究財団)